四日市市におけるデータ連携実証取り組み







データ利活用の目的

四日市市では、校務系データと学習系データの自動連携により教育データを統合することで、教職員や学校・教育委員会が児童生徒の成績や日常 所見をリアルタイムで視覚的に把握できる仕組みを構築し、業務効率化やきめ細やかな指導・個別最適な学びの支援を目指します。

四日市市では、多角的に子ども一人ひとりの 姿や課題を把握し、さらにきめ細やかな教育 を推進しており、データの利活用により日々 の指導・支援に活かすことを目的とします。

C4thで蓄積された名簿データを「百問繚乱」 と「スクールライフノート」に日次バッチで 自動連携させます。

「百問繚乱」の採点結果や「スクールライフ ノート」の児童生徒が入力した心の健康デー タや学びの振り返りを、C4thのダッシュボー ドに集約し表示させます。

この仕組みにより、児童生徒のあらゆる学習 状況や生活・学習への姿勢がダッシュボード で複合的に可視化され、教職員や教育委員会 が把握・分析が可能となります。

これらを踏まえ、クラス・学校・学年・自治 体単位でのデータ俯瞰や分析を通じて、児童 生徒一人ひとりに最適な指導・支援につなげ ていきます。

校務支援システム

[所属NW] 校務系ネットワーク

[手法] 教職員がデータ入力

名簿データ

[閲覧する主体・閲覧頻度]

教職員・教育委員会が1日に1回以上

児童生徒ダッシュボードに データ集約・分析

48 N ER 日々の心情情報

テスト結果

メリット

これまで複数のシステム・機能やフォルダに点在 していたデータが、一つの画面に集約されること で、子どもたちが日々記録する心情情報や学習状 況をクラス・学校・学年単位で俯瞰したり、そこ から個人をクローズアップしたりすることが可能 になります。

より適時の声掛け・支援を行える環境を整えると ともに、業務時間短縮を実現します。

C4 C4th

日々記録する 心情情報を自動連携

連携用サーバ

C4thサーバ

名簿データ 白動連携

百問繚乱サーバ

可問練利 HYAKUMON-RYOURAN



スクールライフノート サーバ

蓄積データ(利活用するデータ) 日々の心の健康状態・学びの振り返り



自動連携

名簿データ

学習系データ

C4thとの名簿データ連携に よって転出入管理や年度更新作 業など教職員の業務を効率化。

[所属NW] 学習系ネットワーク

[手法]児童生徒が直接 データ入力

[閲覧する主体・閲覧頻度] 児童牛徒が1日に複数回利用



蓄積データ(利活用するデータ) 個票データ、科目・単元ごとの平均点や正答率

採点支援システム

採点結果を

自動連携

C4thとの名簿データ連携に よって転出入管理や年度更新作 業など教職員の業務を効率化。

[所属NW] 学習系ネットワーク

[手法]教職員がシステム 上で採点・集計・分析

[閲覧する主体・閲覧頻度] テスト実施時に学校・教職員が利用